

第41回日本認知症学会学術集会
第37回日本老年精神医学会
アフタヌーンセミナー2

知っておきたい 認知症診療のエッセンス

演題①

座長

演者

高齢者てんかんと認知症の鑑別

松田 博史 先生 公立大学法人福島県立医科大学 生体機能イメージング講座

岩田 淳 先生 東京都健康長寿医療センター 脳神経内科

演題②

座長

演者

認知症診療における脳核医学検査up-to-date

岩田 淳 先生 東京都健康長寿医療センター 脳神経内科

松田 博史 先生 公立大学法人福島県立医科大学 生体機能イメージング講座

日時・会場

2022年 11月25日(金) 15:00~15:50

第3会場 (東京国際フォーラム Bブロック 7F 「ホールB7(2)」)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

※事前申込みや、当日現地での整理券配布はございません。
参加ご希望の方は、直接、各セミナー会場へお越しください。

共催

第41回日本認知症学会学術集会 / 第37回日本老年精神医学会 /
日本脳神経核医学研究会 / 日本核医学会 / PDRファーマ株式会社

演題① 高齢者てんかんと認知症の鑑別

岩田 淳 先生 (東京都健康長寿医療センター 脳神経内科)

てんかんと認知症はともに中枢神経疾患のcommon diseaseである。そのため両者が合併したり、「もの忘れ」という主訴の患者が認知症ではなくてんかんであるという事も日常診療ではよく遭遇するだろう。本セミナーでは、まずは症例提示を交えて認知症とてんかんの鑑別について議論をしたい。そして、てんかんに疑う場合どのようなポイントに注目すれば良いのか、また、どのような検査が有用なのか、そして高齢者てんかんでの治療薬の選択について発表させて頂く。

演題② 認知症診療における脳核医学検査up-to-date

松田 博史 先生 (公立大学法人福島県立医科大学 生体機能イメージング講座)

認知症の日常診療において脳血流SPECTは補助診断法として、早期診断や鑑別診断に多く用いられている。アルツハイマー病の初期では後部帯状回から楔前部および頭頂葉皮質に血流低下を認めるが、読影の補助としてeZISによる画像統計解析が利用され、検査の普及に寄与している。一方、脳アミロイドPET検査は本邦では保険未適用であるものの、¹⁸F-florbetapirをはじめ3製剤が承認されている。アミロイドPETでは視覚読影による陰性/陽性の二値判定が求められるが、¹⁸F標識製剤は¹¹C-PiBに比して灰白質/白質コントラストが低く、軽度集積の場合に陽性判定が一致しないことが多い。本講演では、視覚読影を補う目的で近年構築が進展する各種定量評価法や正常集積画像NDBを活用した画像統計解析法の概要と実例について述べる。

日本脳神経核医学研究会及び日本核医学会入会のすすめ

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

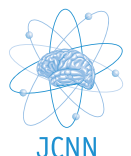
研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、核医学の発展のために、是非本研究会、学会にご入会いただきますようお願い申し上げます。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内
Tel:03-3508-1243 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp



JCNN